

令和6年度

学校教育学部

学校教育教員養成課程

学生募集要項

【一般選抜（前期日程・後期日程）】



兵庫教育大学

本募集要項は紙媒体で発行しません。
本学の Web ページ (<https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/education/request.php>)
からダウンロードいただけます。

兵庫教育大学学校教育学部アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

兵庫教育大学学校教育学部は、これからの時代に求められる学校教育を実現する社会的要請に応えるため、求める人物像に基づいて、子どもの成長と発達についての総合的な理解と広い視野の上に、使命感、得意分野、個性を持ち、学校教育の課題に適切に対応できる実践力と豊かな人間性を有する新人教員を養成しています。

求める人物像

本学が求める者は、次の要素を兼ね備えた人物です。

- 高等学校における教科・科目を幅広く修得し、しっかりとした基礎的な知識・技能を身につけていること
- 知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を有していること
- 豊かな人間性を備え、コミュニケーション能力や協調性を持ち、主体性を持って多様な人々と協働する態度を有していること
- 優れた新人教員になろうとする強い意志を持ち、意欲的に本学の教育課程に取り組むこと

入学者選抜の基本方針

教員になろうとする強い意志を持った者を受け入れるため、大学入学共通テストを課さない総合型選抜、大学入学共通テストを課した学校推薦型選抜及び一般選抜（前期日程、後期日程）により、学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。

なお、各選抜区分においては、学力の3要素等を別表のとおり評価します。

○総合型選抜

優れた技能や得意分野を持った者を対象に、「調査書」等に基づく個人面接〔プレゼンテーションを含む〕、「教員志望理由書」、「活動実績報告書」及び「学習計画書」の成績を総合して、教員になろうとする強い意志と教員となるにふさわしい資質・能力を兼ね備えているかを重視し、評価します。

○学校推薦型選抜

出身学校長が教員になろうとする強い意志と資質・能力を持った者として推薦するものを対象に、大学入学共通テストの成績とともに、「調査書」及び「教員志望理由及び活動報告書」に基づく個人面接の成績を総合して、教員となるにふさわしい人物かどうかを重視し、評価します。

○一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストの成績とともに、小論文、「調査書」及び「教員志望理由及び活動報告書」に基づく集団面接の成績を総合して、教員となるにふさわしい資質・能力のバランスを重視し、評価します。

○一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストの成績とともに、「調査書」及び「教員志望理由及び活動報告書」に基づく得意分野の内容に関する個人面接の成績を総合して、得意分野の知識や学力を重視し、評価します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な知識や技能を十分に習得していること

別表

選抜区分	選抜方法	学力の3要素					③主体性を持って 多様な人々と協働して学ぶ態度	教員になろうとする強い意志
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力					
			思考力	判断力	表現力			
総合型選抜	面接（個人） （プレゼンテーション含む）	◎	◎	○	○	○	◎	
	調査書（面接資料）	○				△	△	
	教員志望理由書	○	○	○	○	◎	◎	
	活動実績報告書	◎	○	○	○	◎	◎	
	学習計画書		○	○	○	◎	◎	
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	◎	○	○	○			
	面接（個人）	○	○	○	◎	○	◎	
	調査書（面接資料）	○				△	△	
	教員志望理由及び活動報告書		△	△	○	◎	◎	
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	◎	○	○	○			
	小論文	○	◎	◎	◎			
	面接（集団）	○	○	○	◎	◎	◎	
	調査書（面接資料）	○				△	△	
	教員志望理由及び活動報告書		△	△	○	◎	◎	
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	◎	○	○	○			
	面接（個人）	◎	○	○	◎	○	◎	
	調査書（面接資料）	○				△	△	
	教員志望理由及び活動報告書		△	△	○	◎	◎	

◎：特に評価する ○：評価する △：ある程度評価する

目 次

第1	募集人員	1
第2	一般選抜（前期日程・後期日程 共通事項）	1
	1 募集人員	1
	2 出願資格	1
	3 出願にあたっての注意事項	2
	4 出願手続	3
	5 インターネット出願の手続きについて	4
	6 受験票のダウンロード	6
	7 試験場	6
	8 合格者の発表	6
	9 入学手続	7
	10 追加合格	8
	11 欠員補充第2次募集による選抜	8
	12 出願資格に関する事前審査	9
第3	一般選抜（前期日程）	10
	1 選抜方法	10
	2 試験日・実施方法	10
第4	一般選抜（後期日程）	11
	1 選抜方法	11
	2 試験日・実施方法	11
第5	障害等のある入学志願者との事前相談	12
	1 申出の期日	12
	2 相談の方法	12
	3 連絡先	12
第6	その他の注意事項	13
第7	入学試験情報の開示	14
	1 成績の開示	14
	2 問題・出題の意図の公表	14
第8	試験場の位置図等	15
	1 試験場の位置図	15
	2 兵庫教育大学（加東キャンパス嬉野台地区）への交通案内	16
〈附録〉	検査内容、採点・評価基準及び合否判定基準	18
	（1）検査内容、採点評価基準	18
	（2）合否判定基準	19
	前年度（令和5年度）入学者選抜状況	19
	前年度（令和5年度）の入学試験問題（前期日程）	20
	小論文A	20
	小論文B	23
	一般選抜（前期日程・後期日程） 教員志望理由及び活動報告書	26
	Web サイトによる情報提供	28

入学者選抜関係日程一覧

選抜方法		出願期間 【必着】	試験日	合格者発表	入学手続期間
総合型選抜		令和5年 9月1日(金)～ 9月7日(木)	令和5年 10月21日(土)、 10月22日(日) <small>※試験は原則として10月21日(土)に行いますが、志願者数が多い場合、一部の受験者は10月22日(日)に試験を実施します。</small>	令和5年 11月10日(金) 午前10時	令和5年 11月27日(月)～ 11月29日(水)
学校推薦型選抜		令和5年 11月1日(水)～ 11月8日(水)	令和5年 11月30日(木)	令和6年 2月9日(金) 午前10時	令和6年 2月18日(日)、 2月19日(月)
一般選抜	前期日程	令和6年 1月22日(月)～ 2月2日(金)	令和6年 2月25日(日)	令和6年 3月7日(木) 午前10時	令和6年 3月13日(水)～ 3月15日(金)
	後期日程		令和6年 3月12日(火)	令和6年 3月22日(金) 午前10時	令和6年 3月25日(月)～ 3月27日(水)

※すべての選抜において、追試験は実施しません。

本学が入学者選抜を通じて取得した氏名、試験成績等の個人情報について、入学者選抜、入学手続業務、入学料免除の選考、授業料免除の選考及び奨学金貸与の選考以外の目的に用いることはありません。

ただし、個人を特定しない形で統計的な調査に使用することがあります。

令和6年度 兵庫教育大学学校教育学部学生募集要項

第1 募集人員

入学定員160人のうち、前期日程及び後期日程の募集人員は次のとおりです。

学 部	課 程	入学定員	募集人員	
学校教育学部	学校教育教員養成課程	160人	総合型選抜	20人
			学校推薦型選抜	60人
			前期日程	70人
			後期日程	10人

※総合型選抜及び学校推薦型選抜の入学手続者が募集人員に満たない場合、その不足した人員を一般選抜（前期日程）の募集人員に加える。

第2 一般選抜（前期日程・後期日程 共通事項）

1 募集人員

- 一般選抜（前期日程） 70人
- 一般選抜（後期日程） 10人

2 出願資格

次のいずれかに該当し、かつ、次のページの表による令和6年度大学入学共通テストの5教科7科目、5教科8科目、6教科7科目又は6教科8科目を受験した者とします。

なお、大学入学共通テストの過年度成績の利用は行いません。

- 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの及び令和6年3月31日までに18歳に達するもの

教科	科目	目
国語	『国語』	
数学	「数学Ⅰ」『数学Ⅰ・数学A』から1科目及び「数学Ⅱ」『数学Ⅱ・数学B』 『簿記・会計』『情報関係基礎』から1科目	計2科目
地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」	から1又は 2科目
公民	「現代社会」「倫理」 「政治・経済」『倫理、政治・経済』	
理科	A「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 B「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 C「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 及び「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 D「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目	A～Dの いずれか
外国語	『英語』	

※本表中において、「」で記載している科目は、高等学校学習指導要領上設定されている科目を表し、『』は、それ以外の科目を表す。

- (注1) 「理科」でA又はBを選択する場合は、「地理歴史」及び「公民」から2科目、C又はDを選択する場合は、「地理歴史」及び「公民」から1科目を選択すること。
- (注2) 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできない。
- (注3) 「理科」でCを選択する場合は、「物理」と「物理基礎」、「化学」と「化学基礎」、「生物」と「生物基礎」、あるいは「地学」と「地学基礎」の組み合わせを含む選択はできない。
- ただし、事情により上記の組み合わせで受験する場合、「理科」は基礎を付した科目(2科目の合計)と基礎を付さない科目のうち高得点の科目を選択することとして取り扱うので、「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験すること。

「理科」の基礎を付した科目とは、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」をいう。
「理科」の基礎を付さない科目とは、「物理」「化学」「生物」「地学」をいう。

- (注4) 「外国語」の『英語』については、「リーディング」と「リスニング」を課す。

3 出願にあたっての注意事項

本学は、分離分割方式で選抜を行うので、次のことに注意してください。

- (1) 本学の前期日程に出願した者は、他の前期日程の大学・学部に出願できません。また、本学の後期日程に出願した者は、他の後期日程の大学・学部に出願できません。
- (2) 本学の前期日程と後期日程との併願は、可能です。
- (3) 前期日程試験に合格し、令和6年3月15日(金)までに入学手続を行った者は、後期日程試験を受験しても、その合格者となりません。
- (4) 他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)の学校推薦型選抜合格者は、当該学校推薦型選抜を実施した大学・学部の定める推薦入学辞退手続により入学辞退を許可された場合を除いて、本学の一般選抜を受験しても、入学許可は得られません。
※公立大学協会 Web サイト (<http://www.kodaikyo.org/>) 参照
- (5) 他の国公立大学・学部の総合型選抜合格者は、当該総合型選抜を実施した大学・学部の定める総合型選抜の入学辞退手続により入学を辞退した場合を除いて、本学の学校推薦型選抜及び一般選抜を受験しても、入学許可は得られません。
- (6) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格者決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って、可否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

4 出願手続

インターネット出願（出願サイトで出願登録した上で、出願書類を郵送する方法）により出願してください。

(1) 出願方法（インターネット出願）

入学志願者は必要事項を出願サイトで入力し、出願書類をアの出願期間中に「速達・書留」で郵送してください。

ア 出願期間

- ・出願登録及び検定料支払い期間

前期・後期日程試験ともに令和6年1月22日（月）から2月2日（金）午後5時

- ・郵送が必要な出願書類の提出期間（持参による出願は認めていません。）

前期・後期日程試験ともに令和6年1月22日（月）から2月2日（金）（必着）

【重要】

「出願登録及び検定料支払い期間」にインターネットで手続きを行ったとしても「郵送が必要な出願書類の提出期間」を過ぎたものは受理しません。

郵送期間を十分考慮して、手続きを行い、出願期間内に必着するよう「速達・書留」により出願書類を送付してください。

イ 出願書類の提出先

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

兵庫教育大学入試課（事務局1階）

(2) 出願書類等

前期日程・後期日程の両方に出願する場合は、前期日程・後期日程ごとに以下の出願書類等が必要です。

	書 類 等	提出該当者	摘 要
1	入学志願票・写真票 ※出願サイトの登録内容が印刷されるので、記入する必要はありません。	全 員	入学志願票《インターネット出願用》を出願サイトからA4サイズで印刷してください。 出願サイトで写真データ（上半身、脱帽、正面向きのもの）で、出願前3か月以内に撮影したもの）のアップロードが必要です。
2	大 学 入 学 共 通 テ ス ト 成 績 請 求 票	全 員	大学入試センターから送付された「令和6共通テスト成績請求票」を次の区分により入学志願票の所定欄に貼付けてください。 ・前期日程に出願する場合 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 前 令和6共通テスト成績請求票 国 公 立 前 期 日 程 用 </div> ・後期日程に出願する場合 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 後 令和6共通テスト成績請求票 国 公 立 後 期 日 程 用 </div>

3	調査書	全員	<p>ア 出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>イ 高等学校卒業程度認定試験合格者等は、その合格証明書及び成績証明書又はその資格を証明する書類をもって代えてください。なお、高等学校等に在学したことがある者は、在学期間中の調査書を併せて提出してください。</p> <p>ウ 指導要録の保存期間が経過した場合及び廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書及び成績通信簿を提出してください。</p> <p>(注) 上記イ、ウに該当する方で、証明書等を提出できない場合は、出願に先立ち入試課 (TEL: 0795-44-2067) までお問い合わせください。</p>
4	<p>一般選抜 (前期日程・後期日程) 教員志望理由 及び活動報告書</p>	<p>全員 (注)</p>	<p>ア 必ず本要項26～27ページの様式を使用してください (A4サイズ、片面印刷)。なお、昨年度とは様式が異なるため、必ず今年度の様式を使用すること。</p> <p>イ 必ず本人が、自筆で記入してください。</p> <p>様式は次の Web ページからダウンロードいただけます。 https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/education/request.php#toc5</p>
5	<p>検定料 (17,000円) ※支払い時に別途手数料が必要です。</p>	<p>全員</p>	<p>ア 大規模な自然災害で被災された方を対象に入学試験にかかる検定料免除の特別措置を講じます。詳細については、次の Web ページをご覧ください。 https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/kenteiryomenjyo.php</p> <p>イ 新型コロナウイルス感染症拡大によって家計に急変が生じた方を対象に入学試験に係る検定料免除の特別措置を講じます。詳細については、次の Web ページをご覧ください。 https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/kenteiryomenjyocovid19.php</p>

(注) 学校推薦型選抜に出願した場合も一般選抜用の様式で再提出が必要です。なお、前期日程・後期日程の両方に出願する場合は、「**一般選抜 (前期日程・後期日程)** 教員志望理由及び活動報告書」は各1部提出してください。うち1部はコピーでもかまいません。

5 インターネット出願の手続について

ご利用にあたっては、パソコン (インターネット接続済)・メールアドレス・写真データ・プリンター (A4出力) が必要です。

- (注) 1 3ページに記載の出願登録及び検定料支払期間中のみ、出願登録が可能となります。
2 自宅にパソコン等がない場合でも、学校等のパソコンのインターネット環境を利用するなどの方法で出願可能です。
3 スマートフォン、タブレット端末も利用できます。

STEP1 「学校教育学部受験生応援サイト」へアクセスし、「インターネット出願」をクリックしてください。
https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/education/jukensei_ouen/

STEP2 アカウント作成

- ① 出願サイトの「新規登録」ボタンをクリックしてください。
- ② 利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワードを入力して「登録」ボタンをクリックしてください。
- ③ 入力したメールアドレスあてに、仮登録メールが届きます。
- ④ 仮登録メールの受信から60分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。

STEP3 ログイン

- ① メールアドレス・パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックすると、登録したメールアドレスあてに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。
- ② 「学校一覧」から「兵庫教育大学」を検索してください。

STEP4 出願登録

- ① 画面の手順や留意事項を必ず確認してください。
- ② 画面に従って、出願登録（写真データのアップロードを含む。）を行ってください。
- ③ 確認画面で登録内容に間違いがないか、確認してください。

※出願登録完了後の変更はできませんので、登録した内容を十分に確認してください。

STEP5 検定料の支払

次のいずれかの方法で支払手続を行ってください。

a. クレジットカードの場合

画面に従って、支払手続を行ってください。

b. 指定のコンビニエンスストア及びペイジー（銀行 ATM、ネットバンキング）の場合

- ① 支払方法を選択し、確定後に表示される受付番号等をメモしてください。
- ② メモした受付番号等を使用し、取扱い店舗で支払手続を行ってください。

※検定料支払手続が完了しないと、「STEP6 入学志願票《インターネット出願用》等の印刷」には、進めません。

※検定料は出願期間最終日の午後5時までにお支払いください。支払い期限を過ぎますと、登録された内容での検定料の支払いができなくなります。

STEP6 入学志願票《インターネット出願用》等の印刷

- ① 支払い完了メールのリンクをクリックし、出願サイトにログインしてください。
- ② 出願サイトの右上にある「出願内容一覧」をクリックし、「出願内容を確認」から出願内容を照会してください。
- ③ 「出願内容を確認」ページ下部のダウンロードボタンから、「入学志願票・写真票」と「封筒貼付用宛名シート」をページの拡大・縮小はせずにA4サイズで印刷してください。

「入学志願票・写真票」や「封筒貼付用宛名シート」等を印刷した際に入力誤りに気付いた場合は、朱書きで訂正したものを郵送してください。

STEP7 必要書類の郵送

3～4ページの「出願書類等」に基づき、市販の角型2号封筒（24cm×33.2cm）に、出願サイトから印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付け、出願書類を「速達・書留」により郵送してください。

[郵送する出願書類]

- ・ 入学志願票・写真票
- ・ 大学入学共通テスト成績請求票（入学志願票・写真票に貼り付け）
- ・ 調査書
- ・ **一般選抜（前期日程・後期日程）** 教員志望理由及び活動報告書

【重要】

「出願登録及び検定料支払い期間」にインターネットで手続きを行ったとしても「郵送が必要な出願書類の提出期間」を過ぎたものは受理しません。

郵送期間を十分考慮して、手続きを行い、出願期間内に必着するよう「速達・書留」により出願書類を送付してください。

※インターネット出願の詳細については、本学 Web ページ、出願サイト及び専用コールセンターで確認してください。(募集要項公表後に、操作方法・支払方法等が変更となる場合がありますので、予めご了承ください。)

【インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問合せ】**インターネット出願専用コールセンター**

受付期間：令和6年1月22日（月）から2月2日（金）

受付時間：午前9時～午後5時（土日祝を除く）

電話番号：075-341-8670

6 受験票のダウンロード

受験票は出願サイトから印刷し、試験日当日にご持参ください。受験票は令和6年2月8日（木）までに出願サイト上で公開します。受験票が出願サイト上に公開されると受験票公開案内メールが出願サイトで登録したメールアドレスあてに送信されます。次のドメイン「@postanet.jp」を受信可能な状態に設定しておいてください。

また、受験に関する詳細については、受験票公開時に通知する「受験者心得」等を参照してください。

7 試験場

兵庫教育大学（15ページ「試験場の位置図等」参照）

所在地：兵庫県加東市下久米942-1

8 合格者の発表**前期日程**

令和6年3月7日（木）午前10時

後期日程

令和6年3月22日（金）午前10時

いずれも本学 Web ページ (<https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/education/result.php>) に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書及び入学手続きに必要な書類を送付します。

なお、当該合格通知書をもって正式な通知とします。

可否に関する電話等での問い合わせには応じません。

10 追加合格

入学定員に欠員が生じた場合には、追加合格により欠員を補充します。

(1) 追加合格者への通知

追加合格者には、令和6年3月28日（木）から3月31日（日）までに、電話等で入学志願票の連絡先に連絡し、入学の意思を確認しますので、この期間は、本人と直接連絡ができるようにしておいてください。

(2) その他

追加合格者で入学の意思表示をしたものは、本学の指示する日までに入学手続を完了することとし、完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

この場合の入学手続、手続期間等の詳細は、合格通知と同時に通知します。

なお、追加合格者の発表は行いません。

11 欠員補充第2次募集による選抜

欠員補充第2次募集の実施の有無及び出願方法、選抜日程、実施方法等の詳細については、令和6年3月29日（金）までに、本学 Web サイト（<https://www.hyogo-u.ac.jp/>）で公表します。

(1) 出願資格

1 ページ「1 出願資格」のいずれかに該当し、かつ、次のいずれかに該当する者

ア 国公立大学を受験したが、いずれの大学にも合格しなかった者

イ 国公立大学に合格したが、いずれの大学にも入学手続をしていない者

ウ 大学入学共通テストを受験したが、いずれの国公立大学にも出願していない者

(注) 3月中に出願受付を行う欠員補充第2次募集に出願することができるのは、一つの大学・学部に限られます。

また、欠員補充第2次募集出願後、他の国公立大学への追加合格等により入学手続を行った場合は、受験しても入学許可は得られません。

(2) 選抜方法

大学入学共通テストの成績並びに調査書及び「教員志望理由及び活動報告書」の内容を総合して、入学者を選抜します。

12 出願資格に関する事前審査

1 ページ「1 出願資格 (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの及び令和6年3月31日までに18歳に達するもの」についての出願資格審査手続は、次のとおりとします。

なお、下記の申請書類の他に、必要に応じて証明書等の提出を求める場合があります。

※高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者は、この審査を受ける必要はありません。

(1) 申請書類

- ア 出願資格認定申請書（本学所定の用紙）
- イ 履歴書（本学所定の用紙）
- ウ 最終学校の卒業（見込）証明書
- エ 出願資格の審査区分に応じた書類
- オ その他必要と認める書類

※「出願資格認定申請書」等の用紙は本学にありますので、申請する場合は必ず入試課（TEL 0795-44-2067）へ連絡してください。

(2) 申請方法

入学志願者は、申請書類を下記申請期間中に必ず「出願資格認定申請書類在中」と朱書し、「速達・書留」により郵送してください。

① 申請期間

令和6年1月15日（月）・1月16日（火）（必着）（大学入学共通テストを受験した者に限る。）

② 申請先

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
兵庫教育大学入試課

(3) 審査方法

出願資格認定審査は、申請書類の書類審査により行い、更に必要な場合は、試験及び面接による審査を行います。

(4) 審査結果の通知

審査の結果は、後日、本人に通知します。

第3 一般選抜（前期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入学共通テスト及び個別学力検査の成績並びに調査書及び「教員志望理由及び活動報告書」の内容を総合して、入学者を選抜します。

なお、合否判定基準については、19ページのとおりです。

- (2) 個別学力検査は、次によるものとします。

① 小論文

教員となるにふさわしい資質と能力をみるため、2種類の小論文を課します。

② 面接

面接（集団面接を実施）においては、出願時に「教員志望理由及び活動報告書」の提出をもとめ、それを参照して、次の項目をみるものとします。

教員となるにふさわしい資質・能力のバランスを重視し、主として①～④をみます。

- ① 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
- ② 思考力、判断力、表現力
- ③ 教員になろうとする強い意志
- ④ 知識・技能

- (3) 大学入学共通テストと個別学力検査の配点内訳は、次のとおりです。

大学入学共通テスト							個別学力検査					合計	
国語	数学	地理歴史	公民	理科	外国語（英語）		小論文			面接	計		
					リーディング	リスニング	小論文A	小論文B	小計				
200	200	300			100	100	900	180	180	360	240	600	1500

（注1）病気・負傷や障害等のために、受験上の配慮として、「外国語（英語）」の「リスニング」を免除されている者は「リーディング」100点を200点満点に換算する。

- (4) 大学入学共通テストにおいて、【「地理歴史」及び「公民」から2科目】、【「理科」について2ページ表中の理科C又はDにより3科目又は2科目】を受験した場合は、次の成績を用います。

ア. 「理科」において2ページ表中 理科Cのとおり受験した場合

- (ア) 「地理歴史」「公民」の第1解答科目 …………… 1科目
 - (イ) 「地理歴史」「公民」の第2解答科目
 - (ウ) 「理科」の基礎を付した科目（2科目の合計）
 - (エ) 「理科」の基礎を付さない科目
- } (イ)～(エ)のうち高得点順に2科目
(ウ)を用いる場合は3科目

イ. 「理科」において2ページ表中 理科Dのとおり受験した場合

- (ア) 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
- (イ) 理科Dで受験した科目の第1解答科目
- (ウ) 「地理歴史」「公民」の第2解答科目と理科Dで受験した科目の第2解答科目のうち高得点の科目

2 試験日・実施方法

次の小論文A・B及び面接は、全員に課します。

試験日	検査科目	検査時間	摘 要
令和6年 2月25日 (日)	小論文A	9:30～10:20	主として文章を理解し、その内容について論述する。
	小論文B	11:00～11:50	主として資料、図、表等を理解し、その内容について論述する。
	面接	13:30～	集団面接を行う。

第4 一般選抜（後期日程）

1 選抜方法

- (1) 大学入学共通テスト及び面接の成績並びに調査書及び「教員志望理由及び活動報告書」の内容を総合して、入学者を選抜します。

なお、合否判定基準については、19ページのとおりです。

- (2) 面接は口頭試問を含むものとし、入学志願者は国語、英語、社会（地理歴史・公民）、数学、理科、音楽、美術又は保健体育から1教科選択します。面接においては、出願時に「教員志望理由及び活動報告書」の提出をもとめ、それを参照して、次の項目についてみるものとします。なお、音楽又は美術を選択する者については、実技も含まれます。

得意分野の知識や学力を重視しつつ、主として①～④をみます。

- ① 知識・技能
- ② 思考力、判断力、表現力
- ③ 教員になろうとする強い意志
- ④ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (3) 大学入学共通テストと面接の配点内訳は、次のとおりです。

大学入学共通テスト						面接（口頭試問・実技を含む）								合計	
国語	数学	地理歴史	公民	理科	計	国語	英語	社会（地理歴史・公民）		数学	理科	音楽	美術		保健体育
								外国語（英語） リーディング	リスニング						
200	200		300		900			300							1,200

（注1）病気・負傷や障害等のために、受験上の配慮として、「外国語（英語）」の「リスニング」を免除されている者は「リーディング」100点を200点満点に換算する。

- (4) 大学入学共通テストにおいて、【「地理歴史」及び「公民」から2科目】、【「理科」について2ページ表中の理科C又はDにより3科目又は2科目】を受験した場合は、次の成績を用います。

ア. 「理科」において2ページ表中 理科Cのとおり受験した場合

- (ア) 「地理歴史」「公民」の第1解答科目 …………… 1科目
 - (イ) 「地理歴史」「公民」の第2解答科目
 - (ウ) 「理科」の基礎を付した科目（2科目の合計）
 - (エ) 「理科」の基礎を付さない科目
- } (イ)～(エ)のうち高得点順に2科目
(ウ)を用いる場合は3科目

イ. 「理科」において2ページ表中 理科Dのとおり受験した場合

- (ア) 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
- (イ) 理科Dで受験した科目の第1解答科目
- (ウ) 「地理歴史」「公民」の第2解答科目と理科Dで受験した科目の第2解答科目のうち高得点の科目

2 試験日・実施方法

試験日	検査科目	検査時間	摘 要
令和6年 3月12日 (火)	面接	9:30～	<p>全員に面接（口頭試問を含む）を行う。</p> <p>ただし、音楽又は美術を選択した者については、実技も含まれる。</p> <p><音楽を選択した者> 面接の中で楽器演奏、歌唱、又は弾き歌い（いずれでもよい）を課すので、任意の楽曲を準備してくる。ピアノ以外の楽器を演奏する場合は各自携行すること。伴奏者はつけない。</p> <p><美術を選択した者> 面接の中で描画を課す。画材用具は持参の必要なし。</p>

面接の順番や時間については、令和6年3月4日（月）までにお知らせします。

第5 障害等のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、病気、負傷や障害等のために、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、必ず下記の期日までに本学入試課に申し出てください。

なお、日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等の使用を希望する場合も、受験上の配慮の申請が必要となります。

1 申出の期日

- ・一般選抜：令和5年12月8日（金）

※期日以降に発生した不慮の事故等により、特別な配慮が必要となったときは、その状況によっては考慮できる場合がありますので速やかに申し出てください。

2 相談の方法

受験上の配慮申出書（健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との相談（面談、その他）を行います。

なお、申出書の様式は、本学 Web ページ（<https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/education/zizen.php>）からダウンロードできます。

3 連絡先

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
兵庫教育大学入試課
TEL 0795-44-2067

第6 その他の注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがありますので十分注意してください。
- (2) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (3) 出願書類は返還しません。
- (4) 受験のための宿泊施設のあっせんは行いません。
- (5) 可否に関する電話等の問い合わせには応じません。
- (6) 大学入学共通テスト及び本学の受験票は、入学手続の際に必要ですので紛失しないようにしてください。
- (7) 受験に関する詳細については、受験票公開時に通知する「受験者心得」等を参照してください。
- (8) 「受験者心得」で禁止している行為（試験室内でスマートフォンを操作する等）があった場合は、不正行為とみなします。不正行為と判断された場合、既に受験済みの試験は全て無効とし、それ以降の受験も認めません。また、悪質な場合は警察に被害届を提出することがあります。
- (9) 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルスなど）に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者などへの感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が他の受験者等に感染の恐れがない旨を記載した診断書の提出があったときは、この限りではありません。なお、受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、検定料の返還はしませんので、試験当日の体調管理には十分注意してください。

第7 入学試験情報の開示

1 成績の開示

本学では、令和6年度入学者選抜試験における個人成績について、受験者本人からの請求に限り、次のとおり開示します。

なお、申請に際しては、本学受験票が必要となりますので、紛失しないように大切に保管してください。

(1) 請求方法

開示を希望する者は、「学部入学試験成績の開示申請書」の様式を以下の本学 Web ページからダウンロードし、所定の手続きを行ってください。なお、同様式は、入試課の窓口でも受け取ることができます。

<https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/education/release.php>

(2) 開示内容

・一般選抜（前期日程）

小論文各得点・面接評点・大学入学共通テスト各科目得点・総合得点

・一般選抜（後期日程）

面接評点・大学入学共通テスト各科目得点・総合得点

(3) 申請受付期間

令和6年5月7日（火）から6月7日（金）（必着）まで〔窓口の場合：土・日を除く〕

(4) その他

請求方法等、不明な事項があれば、以下へ問い合わせください。

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

兵庫教育大学入試課

TEL 0795-44-2067

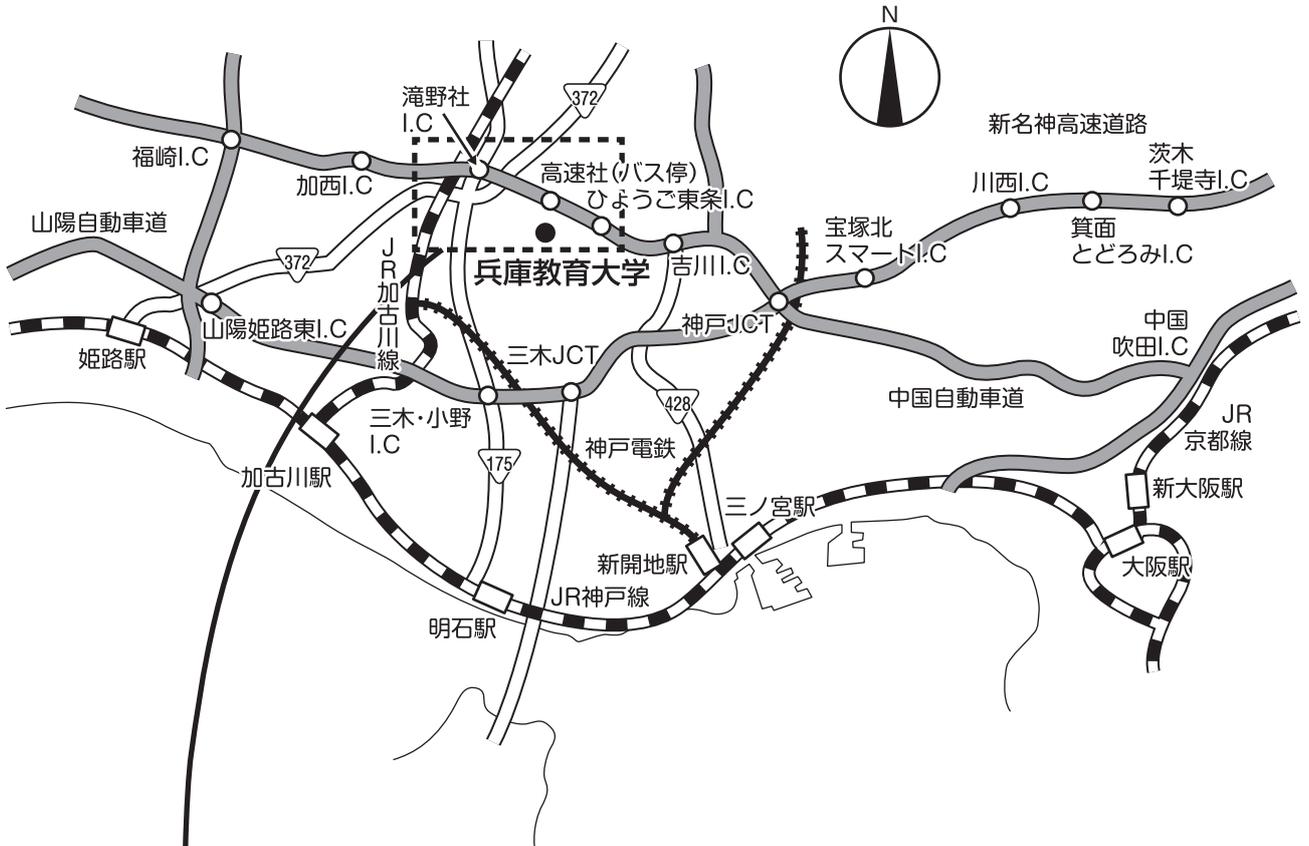
2 問題・出題の意図の公表

令和6年度一般選抜（前期日程）における小論文A・Bの問題・出題の意図は令和6年7月上旬（予定）に本学 Web ページで公表します。

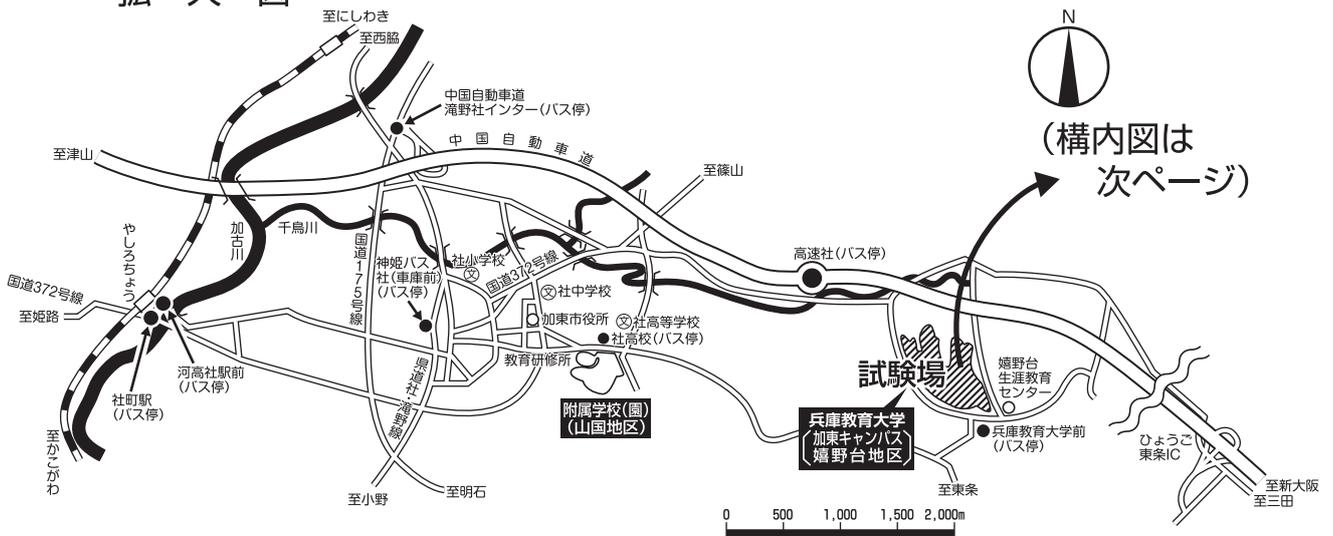
https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/education/past_exam.php

第8 試験場の位置図等

1 試験場の位置図

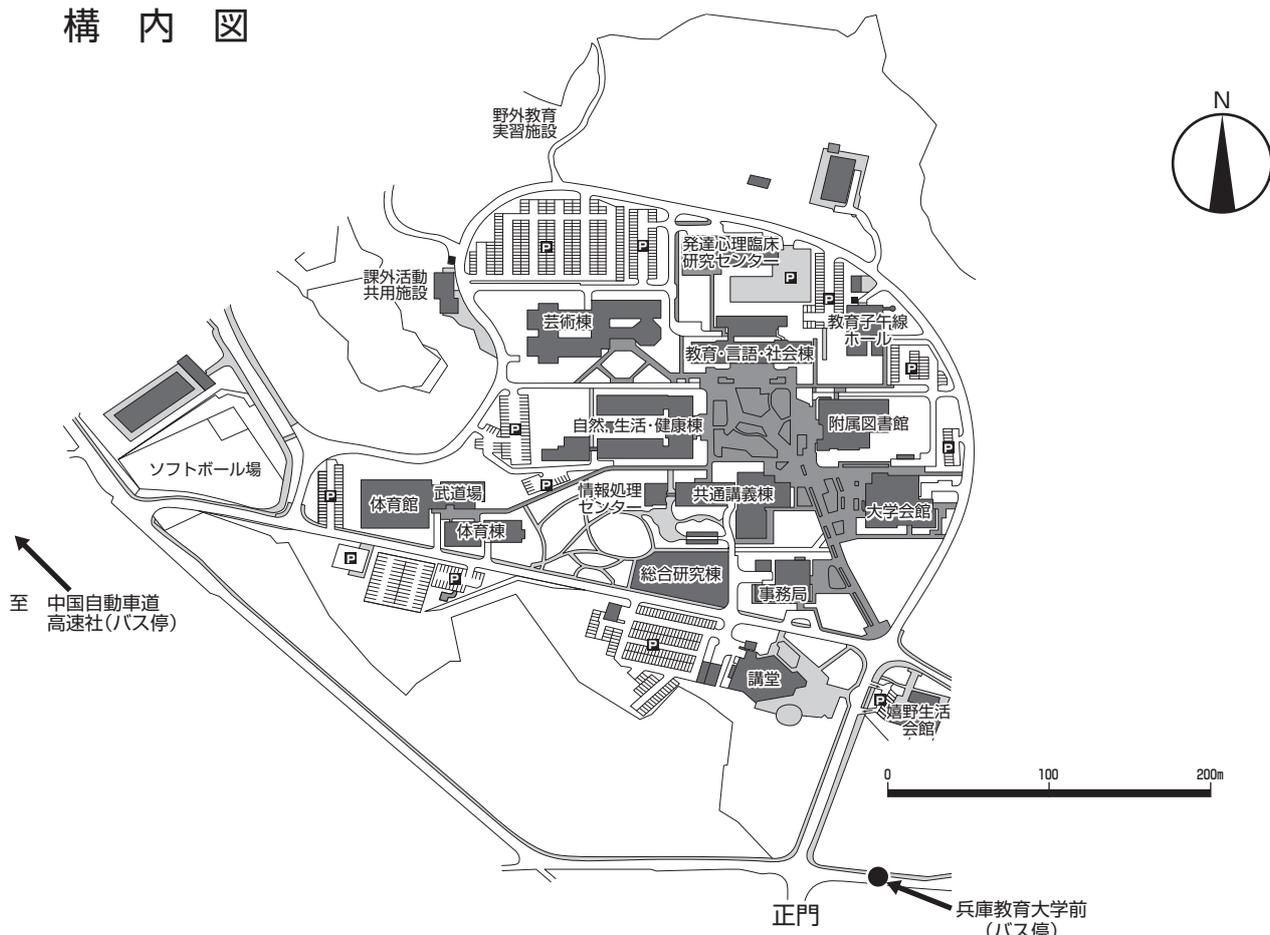


拡大図



(構内図は次ページ)

構内図



2 兵庫教育大学（加東キャンパス^{うれしのだい}嬉野台地区）への交通案内

本学への交通は、以下のような方法があります。

ア 神戸市三宮、明石市、姫路市方面から神姫バス^{しんき}を利用する場合

三ノ宮～西脇線、明石～西脇線(国道175号線経由)及び姫路～社^{やしろ}線の場合は、「社(車庫前)」で「嬉野台生涯教育センター行き」、「嬉野台生涯教育センター経由三田行き」又は「嬉野台生涯教育センター経由天神行き」に乗りかえ、「兵庫教育大学前」で下車する。

(所要時間は、三ノ宮駅から約1時間40分、明石駅から約1時間40分、姫路駅から約1時間30分)

イ 大阪市、神戸市三宮、津山市方面から中国自動車道の中国ハイウェイバス（JRバス又は神姫バス）を利用する場合

中国ハイウェイバスの「高速社^{こうそくやしろ}」で下車し、兵庫教育大学まで兵教シャトル便（平日のみ運行）による場合は5分、徒歩による場合は約25分。タクシーを利用する場合は配車時間を含め約10分。

(所要時間は、新大阪駅から約1時間10分、三ノ宮駅から約1時間、津山駅から約2時間10分)

ウ JR加古川線を利用する場合

加古川線 社^{やしろ}町駅で下車し、神姫バスの「嬉野台生涯教育センター行き」、「嬉野台生涯教育センター経由三田行き」又は「嬉野台生涯教育センター経由天神行き」に乗りかえ、「兵庫教育大学前」で下車する。

(所要時間は、加古川駅から約1時間10分)

土日は運休しているバスもありますので、詳しくは、神姫バス公式サイト <https://www.shinkibus.co.jp> で確認してください。

試験当日に大学が運行する送迎バス（無料）については、受験票公開時にお知らせします。

〈附録〉

検査内容、採点・評価基準及び合否判定基準

前年度（令和5年度）入学者選抜状況

前年度（令和5年度）の入学試験問題

《前期日程》

・小論文A

・小論文B

一般選抜（前期日程・後期日程） 令和6年度 教員志望理由書

検査内容、採点・評価基準及び合否判定基準

(1) 検査内容、採点・評価基準

〈前期日程〉

検査科目	検査内容、採点・評価基準
小論文 A	教員となるにふさわしい資質と能力をみるため、文章の内容の理解度を評価します。
小論文 B	教員となるにふさわしい資質と能力をみるため、資料、図、表等の内容の理解度を評価します。
面接	<p>面接は、提出された「教員志望理由及び活動報告書」も参照し、次の項目をみるものとします。</p> <p>教員となるにふさわしい資質・能力のバランスを重視し、主として①～④をみます。</p> <p>① 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 ② 思考力、判断力、表現力 ③ 教員になろうとする強い意志 ④ 知識・技能</p> <p>(形式：集団面接で複数の教員により行います。)</p>

〈後期日程〉

検査科目	検査内容、採点・評価基準
面接	<p>面接は、提出された「教員志望理由及び活動報告書」も参照し、入学志願者が国語、英語、社会（地理歴史・公民）、数学、理科、音楽、美術又は保健体育から選択した1教科についての口頭試問を含めて、次の項目についてみるものとします。なお、音楽又は美術を選択する者については、実技も含めます。</p> <p>得意分野の知識や学力を重視しつつ、主として①～④をみます。</p> <p>① 知識・技能 ② 思考力、判断力、表現力 ③ 教員になろうとする強い意志 ④ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度</p> <p>(形式：個人面接で複数の教員により行います。)</p>

(2) 合否判定基準

〈前期日程〉

選抜者の判定は、原則として大学入学共通テスト及び個別学力検査の成績の合計点が高得点の者から合格者を決定します。

調査書の成績はA、B、C、D、Eの5段階で評価判定します。

ただし、以下のいずれかに該当する場合は、不合格となることがあります。

- ・大学入学共通テストの各科目の得点及び個別学力検査の得点が著しく低い
- ・調査書の評価が著しく低い

〈後期日程〉

選抜者の判定は、原則として大学入学共通テスト及び面接の成績の合計点が高得点の者から合格者を決定します。

調査書の成績はA、B、C、D、Eの5段階で評価判定します。

ただし、以下のいずれかに該当する場合は、不合格となることがあります。

- ・大学入学共通テストの各科目の得点及び面接の得点が著しく低い
- ・調査書の評価が著しく低い

前年度（令和5年度）入学者選抜状況

区 分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
学校推薦型選抜	80	217	212	80	80
一般選抜（前期日程）	70	219	156	79	73
一般選抜（後期日程）	10	204	62	18	15

前年度（令和5年度）の入学試験問題（前期日程）

令和5

小論文 A

〔180点
50分〕

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、白紙を除いて、4ページあります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答は、〔令5 解答用紙〕に記述しなさい。
- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

問題 次の文章を読み、後の問い（問1～問3）に答えよ。

マニュアル力は、「答えがある」「正しい手順が決まっている」という場面では素晴らしい威力を發揮します。こうした条件が満たされているシチュエーションでは、マニュアル力の高い人は、誰よりも効率よく成果をあげることもできるでしょう。ところが、学問の世界や実社会に出ると、こうした場面は限られてしまいます。

たとえば、営業活動。お客様さん回りならば、先輩や上司から引き継いだ知識や慣習に対応できます。このような局面では、マニュアル力の優れた人が顧客に安心感と信頼を与え、優遇を見なされます。

ところが、新たな顧客開拓、新規プロジェクトへの賛同を得るといった局面ではどうでしょうか。ここでは、マニュアルでは済まない企画力や創造性、相手を説得するコミュニケーション力が必要になってきます。さらに予測の事態が起きたときには、拘り定規なルールはむしろ邪魔になってしまっていることもあります。

商開業ならば、他の人が気づかないことを思いつく創造力が重要で、これなしでは多くの人々には持たれるサービス・製品は生まれません。こうした製品を次々に世に送り出したアップルの創業者、ステイブ・ジョブスがスタンフォード大学卒業生らに送った言葉は、“Stay hungry, stay foolish.”でした。食欲で愚直に壁にはら向かうことで、マニュアルにたどられない斬新な発想や世間の常識にとられないアイデアが生まれ、新しいモノを創り出すきっかけになるというメッセージです。

顧客が求めているものに応えるにはマニュアル力で足りるかもしれませんが、大きなマーケットを開拓するには顧客がまだ意識すらしていないニーズを創造する必要があります。

ビジネスだけではなく、学問の世界も同じです。新しい発見をするためには、明確な「答え」や「正解」にたどり着くマニ

アル」のない未知の荒野に勇気と好奇心を持って踏み出さなくてはならないのです。

マニュアルはだしかに社会においても有効ではありますが、それだけで優位に立てる場面は限られています。マニュアルに優れた人が高く評価されるのは、ルールや枠組みがはっきりしている「規定内」の世界です。しかし、この能力だけではイノベーションを生み出すことはできません。それどころか、「早く答えが出ない問題」とりかかるとは非効率だと、イノベーションにつながる方向への努力を避けてしまうことも多いのです。一生懸命実験勉強をした結果、無意識にそのような姿勢が身につけてしまっただけは決して少なくありません。

私は、たとえ非効率に見えても「考える」ことだけが生み出せない価値、発見は無限にあると考えています。もしマニュアルにだけ頼っていたら、自分自身が潜在的に持っている可能性を眠らせてしまうことにもなりかねないのです。

(小見出し略)

今、日本は「創造性の時代」に入ったと私は感じています。

高度経済成長を経て、この国では日常生活や社会活動を営むためのシステムが整備されてきました。その結果、たいていのことは定められたマニュアルに従うか、前例を参考にすれば解決できる、いわば「マニュアルの時代」に入りました。このような社会では、前例を重んじ、マニュアルとルールをきっちり守ることで、効率的に生き抜くことができます。マニュアルを逸脱することは非効率なことだったので。

しかし、現代の日本では、経済・政治・医療・産業などあらゆる分野で、これまでのマニュアルでは解決できない問題が山積しています。マニュアルが古くなってしまったのです。こうした時代に、従来のシステムやルールに拘泥するのはむしろ非効率です。

マニュアルだけでは乗り切れない新しい社会の状況に対応するためには、本来の意味での「考える力」を鍛え、「創造する力」を

身に付けることが必要です。

ここでいう「考える力」とは、単に与えられた問題を解く能力ではありません。他の人が疑問に感ぜないところ、常識で考えているところに問題を発見し出し、根本にまでさかのぼって問題の本質を突き止める能力です。諦めずに考え続けることができる能力と言ってもいいかもしれません。このような能力は、30分考えても分からなければ次の問題に移れという訓練をしていると身につかないことが分かります。それとは逆に、納得がいくまでとことん考え続ける粘り強さが重要なのです。

そして、そのようにして根本にまでさかのぼった問題には、あらかじめ用意された「通り」に決まった答えなどありません。この時点では、答えは存在しないのです。この答えのないところにあなた独自の答えを生み出すことができる能力こそが、ここでいう「創造する力」なのです。「創造する力」を持つた人の心が同じ問題に取り組みると「通り」の「正解」が生まれるという点から言うと、アクションゲームを想像するより分かりやすいかもしれません。

つまり、(中略)「考える力」とは問題の本質を見極める力であり、「創造する力」とはそれをあなた独自の方法で解決に至るまでやり続けることができる能力です。(中略)

そんな言葉は、(中略)生まれつきの天才だけができることだと思われるかもしれませんが、しかし、そうではないのです。私のこれまでの教育経験から、「考える力」と「創造する力」は、意識的な訓練をすることによってたれでも身につけることができると思えます。

「A「考える力」は「B「マニュアル力」の基礎の上に成り立ち、「C「創造する力」は「考える力」がなくては成り立ちません。特に「考える力」と「創造する力」は表裏一体の能力なので、これらをまとめて議論するときは「自ら考え、創造する力」ということにします。

(上田正仁『最大物理学者が教える「考える力」の鍛え方』アスキーメディアワークス社、二〇一三、二七〇～二七三頁、による。一部改変。)

問1 傍線部「インクレーション」とはどのようなものであるか筆者は述べているか、文中の言葉を用いて三五〇字以内で説明せよ。
〔七〇点〕

問2 二重線部A、B、Cの語句を、マニエールカ、創造する力の関係を読み取り、次の文の空欄をA、Cの記号で埋めよ。〔三〇点〕
(1)は(2)の基礎であり、(3)は(4)に不可欠である。(5)と(6)はまよぬと纏めるものである。

問3 出題文を逐行読み、あなたは本学学校教員昇任入学後、どのように卒業に取り組まねばならないと考えるか、三五〇字以内で述べよ。〔八〇点〕

小論文B

〔180点
50分〕

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てもいいけません。
- 2 この問題冊子は、白紙を除いて、4ページあります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答は、〔令5 解答用紙〕に記述しなさい。
- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

次の文章を読んで、後の問い（問1～問4）に答えよ。

厚生労働省「令和3年簡易生命表」によると、日本人の平均寿命は、男性が81.47歳、女性が87.57歳である。この値は、国際的にみても高い。しかしながら、国民の食生活においては、「食」の海外への依存や生活習慣病の増加等、課題がみられる。

生活習慣病とは、2型糖尿病、循環器疾患、一部のがん（悪性新生物〈腫瘍〉）等の疾患をさす。つまり、食習慣、運動習慣、体養、喫煙、飲酒等の生活習慣が、発症・進行に深く関与する疾患群である。生活習慣病は、日本人の死因の約半数を占める。さらに、様々な合併症を引き起こすことから、予防が重要な課題である。予防には、発症する前からの健康教育が重要である。児童・生徒を対象とする健康教育において、学校教育の果たす役割は大きい。

問1 図1は、日本の食料自給率の変化を示したものである。この図から読み取れることを具体的な数字を挙げながら、75字以内で説明せよ。〔30点〕

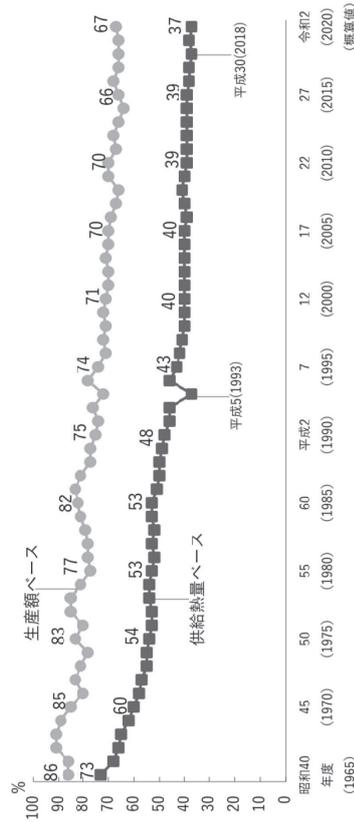


図1 我が国の総合食料自給率

（注）生産額ベースは国民に供給される食料の生産額（食料の国内消費仕向額）に対する国内生産の割合を示す指標、供給熱量ベースは国民に供給される熱量（総供給熱量）に対する国内生産の割合を示す指標である。

〔出典〕農林水産省「令和3年度食料・農業・農村白書」

問2 図2を参照し、空欄(a)～(c)に適切な語句を埋め、下の文章を完成させよ。
[30点]

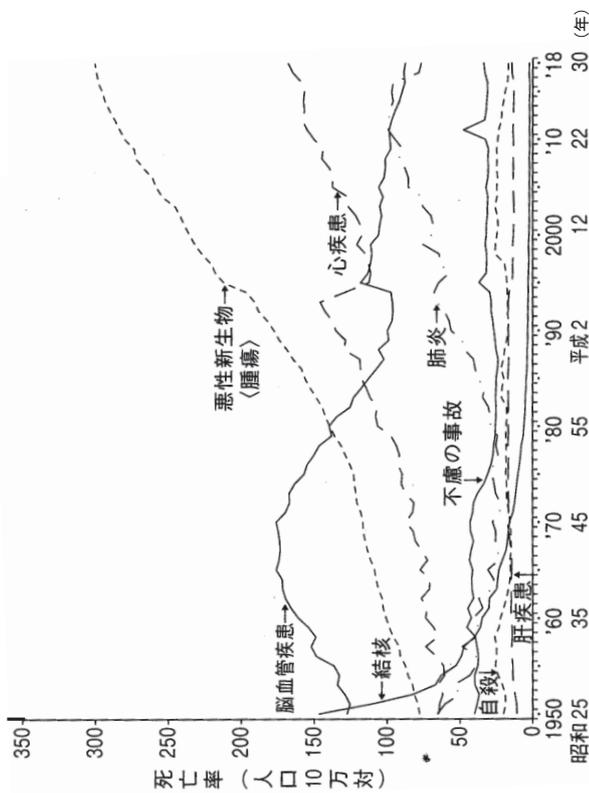


図2 主要死因別にみた死亡率(人口10万対)の推移(注)

(注) 死亡率は「人口10万人のうち何人死亡したか」の一年あたりの値である。つまり図の縦軸の上限は、100%ではなく、10万人である。

[出典] 厚生労働統計協会「国民衛生の動向2019/2020」(一部改変)

昭和25(1950)年以降、(a)による死亡率が大きく減少し、多くを占める疾患は(b)になった。つまり、死亡構造の中心は感染症から生活習慣病へと大きく変化した。しかし、(b)は昭和45年以降、着実に減少し、昭和55年以降は(c)の割合が最も高くなった。

問3 図3は、国民一人・一日当たりの供給熱量の構成の推移を示したものである。後の文章を参照しつつ、生活習慣病予防の観点から、図3より読み取れることを、200字以内で述べよ。[60点]

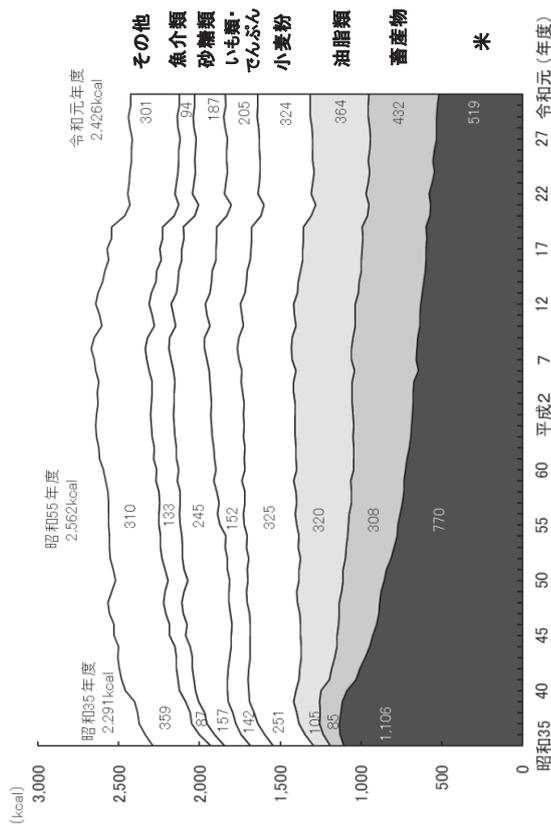


図3 我が国の国民の食生活の変化

(国民一人・一日当たりの供給熱量(注)の構成の推移)

(注) 一人・一日当たり供給熱量は、一人・一日当たり供給数量に当該品目の単位当たり栄養成分量(熱量、たんぱく質、脂質)を乗じて算出している。算出された食料の供給数量及び栄養量は、消費者等に到達した食料のそれであって、国民によって実際に摂取された食料の数量及び栄養量ではない。

[出典] 農林水産省「令和元年度食料需給表」(一部改変)

食事における予防では、各栄養素の摂取量に十分配慮した上で、PFCバランス^(注)を適正にすることが望まれる。日本におけるPFCバランスは、昭和55年頃に理想的な値となった。つまり、米を中心とした水産物、畜産物、野菜等多様な副食から構成されるようになった。この栄養バランスに優れた食生活を「日本型食生活」という。しかしながら、近年は食生活の変化に伴い、脂肪エネルギー比率が増加傾向にある。

(注) エネルギー産生栄養素のバランス、つまり、エネルギーを産生する栄養素、すなわち、たんぱく質、脂質、炭水化物が総エネルギー摂取量に占める割合のことを意味する。PはProtein, FはFat, CはCarbohydrate。

問4 あなたは将来教員として、児童・生徒に対し、どのような健康教育を行っていただきたいか。180字以内で述べよ。[60点]

一般選抜 (前期日程・後期日程)

教員志望理由及び活動報告書 (1/2ページ)

黒のボールペン (消えないもの) を使用し、自筆で記入してください。※欄は記入しないでください。

ふりがな		受験番号	※
氏名			
出身 学校名	令和 年 月 卒業・卒業見込		

○教員志望理由

あなたが教員をめざす理由やめざす教師像などについて、自分の言葉で400字以内で述べてください。

	5	10	15	20
5				
10				
15				
20				

Web サイトによる情報提供

○出願状況

一般選抜（前期日程・後期日程）

掲載内容：募集人員、志願者数、志願倍率

掲載期間：令和6年1月22日（月）～3月29日（金）

○合格者受験番号

一般選抜

前期日程

掲載期間：令和6年3月7日（木）午前10時～3月15日（金）

後期日程

掲載期間：令和6年3月22日（金）午前10時～3月27日（水）

※回線が混みあい、接続に時間がかかることがあります。しばらくしてからアクセスしてください。

（注）本人あてに郵送する合格通知書をもって正式な通知とします。

○過去3年分の入学試験問題

前期日程：小論文A・B（問題・出題の意図）

○欠員補充第2次募集実施の有無

令和6年3月29日（金）までに掲載します。

アドレス <https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/education/>



国立大学法人
兵庫教育大学

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
TEL 0795-44-2067 (入試課)

兵庫教育大学

<https://www.hyogo-u.ac.jp/>



入試情報サイト

<https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/education/>



学校教育学部受験生応援サイト

https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/education/jukensei_ouen/

